



海外標準化動向調査(6月)

令和6年度エネルギー需給構造高度化基準認証推進事業費(我が国の国際標準化戦略を強化するための体制構築)
2024年6月1日

一般財団法人日本規格協会

ピックアップ：自動車（関連ニュース番号4）



| | |
|------|--|
| トピック | 道路交通排出ガスを削減するための新しい規則について暫定合意 |
| 推進組織 | 欧州議会、欧州理事会 |
| 内容 | <p>ポイント</p> <ul style="list-style-type: none">• 大気の質を改善するため、道路運送車両のクリーンな状態をより長く維持する• バスとトラックの排気ガス規制値を引き下げる• タイヤとブレーキからの粒子排出を制限し、バッテリーの耐久性を向上させる新たな措置 |
| | <p>背景</p> <ul style="list-style-type: none">• 2022年11月10日、欧州委員会は、燃料の種類にかかわらず、燃焼エンジン車に対する大気汚染物質排出基準をさらに厳しくすることを提案した。現行の排出規制は、乗用車およびバン（ユーロ6）と、バス、トラック、その他の大型車（ユーロ6）に適用される。新機軸として、ユーロ7の提案は、排気ガス以外の排出物（タイヤからのマイクロプラスチックやブレーキからの粒子）に取り組み、バッテリーの耐久性に関する要求も含んでいる。 |
| | <p>概要</p> <p>排気ガス規制の更新</p> <ul style="list-style-type: none">• 乗用車とバンについては、現行のユーロ6の試験条件と排気ガス規制値を維持することで合意した。国会の要請により、排気粒子の数はPN10レベルで測定される。• バスとトラックについては、現行のユーロVIの試験条件を維持しつつ、試験所での測定値（NOx規制値200mg/kWhなど）と実走行条件での測定値（NOx規制値260mg/kWh）の排気ガス規制値を厳しくすることで合意した。 <p>タイヤとブレーキからの粒子排出が減少し、バッテリーの耐久性が向上</p> <ul style="list-style-type: none">• この協定では、自動車とバンのブレーキ粒子排出規制値が設定されている。また、電気自動車とハイブリッド車のバッテリー耐久性に関する最低性能要件も導入される。 <p>消費者への情報提供</p> <ul style="list-style-type: none">• 同文書では、各車両について、登録時の環境性能に関する情報（汚染物質排出規制値、CO2排出量、燃料消費量、電気エネルギー消費量、航続距離、バッテリーの耐久性など）を記載した「環境車両パスポート」が発行されることになっている。また、自動車ユーザーは、燃料消費量、バッテリーの健全性、汚染物質排出量、その他車載システムやモニターから生成される関連情報に関する最新情報にアクセスできるようになる。さらに、自動車メーカーは、自動車モニタリングのデジタル化を通じて、排出ガス制御システムの改ざんを防止するように自動車を設計しなければならない。 |

出所: European Parliamentページなど公開情報等に基づきJSAグループ作成

ピックアップ：自動車（関連ニュース番号21）



トピック

2027～2031年モデルの新燃費基準を最終決定

推進組織

米国運輸省道路交通安全局（NHTSA）

内容

ポイント

- 改善された基準により、2050年までに約700億ガロンのガソリンが節約され、2050年までに7億1000万トン以上の二酸化炭素排出が防止される。

背景

- 議会が1970年代に制定した法人平均燃費基準では、平均的な自動車の燃費は1ガロンあたり約13マイルであった。

概要

- この最終規則では、乗用車の燃費は2027年から2031年のモデルイヤーで年率2%向上し、小型トラックの燃費は2029年から2031年のモデルイヤーで年率2%向上する。これらの引き上げにより、2031年モデルまでに小型車の平均燃費は1ガロン当たり約50.4マイルになり、乗用車と小型トラックの所有者は、車の耐用年数中に600ドル以上の燃料を節約できることになる。
- 大型ピックアップトラックとバンの燃費は、2030-2032年モデルでは年率10%、2033-2035年モデルでは年率8%向上する。この結果、2035年モデルまでには、フリート全体の平均でガロンあたり約35マイルとなり、大型ピックアップトラックとバンのオーナーは、車の耐用年数を通じて700ドル以上の燃料を節約することになる。
- 新しい燃費基準は、[環境保護庁が同種の車両群に対して定めた排出ガス基準](#)を補完するものである。
- NHTSAは、消費者、労働組合、自動車メーカー、州、環境擁護団体など、幅広い利害関係者と協力して最終規則を作成した。
- 最終規則は、燃料を節約し、米国のエネルギー自立と米国の自動車製造を促進するという議会の指示に合致する基準を引き上げる一方、これらの目標を達成する方法について産業界に柔軟性を与えている。NHTSAは基準を設定する際、電気自動車やその他の代替燃料を考慮しないが、メーカーは、先進内燃機関、ハイブリッド技術、電気自動車など、利用可能なすべての技術を適合に使用することができる。

出所: U.S. Department of Transportationページなど公開情報等に基づきJSAグループ作成

【自動車】関連記事詳細 (1/17)

| 番号 | 地域・国 | 情報記事・タイトル | 発行日 | 要旨 | 情報源 (機関・団体名/URL) | |
|----|------|---------------|------------|---|---------------------|---|
| 1 | 国際 | ISO/TC22/SC37 | 2024/07/26 | <p>ISO/TC 22(Road vehicles:道路車両)では、活動範囲として「安全性、セキュリティ、持続可能性、互換性、互換性、メンテナンス、性能評価、品質に関する全ライフサイクルにおいて、公道での運用が承認されたあらゆる種類の道路運送車両とそのインターフェースのあらゆる側面」を対象として標準化活動を行っている。フランスが幹事国を担当、国内審議団体は公益社団法人 自動車技術会が務めている。 ※TC22の詳しい活動内容は、自動車技術会発行の「自動車の標準化2022」に記載されているので参照されたい。</p> <p>TC22は、SC31からSC41までの11のSC(分科会)により構成されており、この中で、日本は電子・電装部品及びシステムを扱うSC32の議長・幹事国と、モーターサイクル・モペッドを扱うSC38の議長国を担当している。</p> <p>ISO/TC22/SC37(電気推進車両)は、電気推進道路車両、電気推進システム、関連コンポーネント、およびそれらの車両統合の特定の側面をスコープとして、6つのワーキンググループで活動している。現在公開されている規格は、32件、開発中規格は、10件である。 公開されている主な規格は以下の通り。 ISO6469シリーズ 1~4 : 安全仕様 ISO21782シリーズ 1~7: 電気指針コンポーネントの試験仕様書 ISO23274シリーズ 1~2 : 排出ガスと燃料消費量の測定 ISO/DIS 5474シリーズ 1~3:電力伝送の機能要件と安全要件 (2024年公開)</p> <p>開発中の主な規格は以下の通り。 ISO/AWI18006シリーズ 1~2 : バッテリー情報</p> | ISO | https://www.iso.org/committees/5391154.html |

【自動車】関連記事詳細 (2/17)

| 番号 | 地域・国 | 情報記事・タイトル | 発行日 | 要旨 | 情報源 (機関・団体名/URL) |
|-----|------|--------------------|------|--|--|
| 1-2 | 国際 | IECにおける電気自動車関連の委員会 | 前回再掲 | <ul style="list-style-type: none"> • IEC/TC 21(Secondary cells and batteries:二次電池とバッテリー)は、EVバッテリーの主要な性能および安全基準に関わる規格開発をしている。IEC 62660シリーズは、電気自動車推進用リチウムイオン二次電池の安全性、試験方法などに関する規格である。 • IEC/SC 23H (Plugs, Socket-outlets and Couplers for industrial and similar applications, and for Electric Vehicles:産業用および同様の用途および電気自動車用のプラグ、ソケットコンセント、およびカプラー)では、IEC 62196シリーズ が発行されており、これらは充電システムの間インターフェースとなる、プラグ、ソケットコンセント、車両コネクタ、車両インレットの要件を指定する規格である。 • IEC/TC 69(Electrical power/energy transfer systems for electrically propelled road vehicles and industrial trucks:電気推進道路車両および産業用トラック用の電力/エネルギー伝送システム)では、IEC 61851シリーズが発行されており、電気自動車の導電性充電システムに関する規格である。 • IEC/TC 105(Fuel cell technologies:燃料電池技術)では、IEC 62282シリーズが発行されており、これらは電動産業用トラック用の燃料電池電源システムの安全性、試験方法などを規定している。 | International Electrotechnical Commission (IEC) https://www.iec.ch/homepage |

【自動車】関連記事詳細 (3/17)

| 番号 | 地域・国 | 情報記事・タイトル | 発行日 | 要旨 | 情報源 (機関・団体名/URL) |
|----|------|---|------------|---|--|
| 2 | アメリカ | バッテリーとクリーン自動車における米国製造業のブームを継続し、エネルギー安全保障を強化するためのガイダンス案を発表 | 2023/12/01 | 米国財務省と内国歳入庁（IRS）は、インフレ削減法（IRA）のクリーン自動車条項に関するガイダンス案を発表した。この条項は、消費者のコストを引き下げ、米国製造業の好況を促進し、同盟国やパートナーとの強靱なサプライチェーンを構築することでエネルギー安全保障を強化するものである。IRAが制定されて以来、米国のクリーン自動車とバッテリーのサプライチェーン全体で、1000億ドル近い民間投資が発表されている。 | アメリカ財務省 https://home.treasury.gov/news/press-releases/jy1939 |
| 3 | 欧州 | WHOは「2023年道路安全に関する世界現状報告書」を発表 | 2023/12/13 | 国連の世界保健機関（WHO）はジュネーブで「2023年道路安全に関する世界現状報告書」を発表した。この報告書には、交通事故死者数の規模と、交通事故削減に向けた各国の法律や戦略の進展状況が詳細に記されている。この報告書は、他のデータ源と並んで、保健と開発という重大な課題に取り組む上での各国の追加行動を定義するための確かな基礎となるものであり、2030年までに交通事故死傷者数を半減するという「国連交通安全のための行動の10年」2021～2030年目標のベースラインとなるものである。シリーズ第5弾となる本報告書は、交通事故死者数は2010年以降わずかに減少しているものの（年間119万人）、移動のために支払われる代償は依然としてあまりにも高く、上記の目標を達成するには緊急かつ追加的な行動が必要であることを示している。交通事故は5～29歳の子どもや若者の死因の第1位であるため、緊急行動の要請は、死者数の90%が発生している発展途上国やその若年層にとって特に重要である。 | WHO https://www.who.int/publications/i/item/9789240086517 |

【自動車】関連記事詳細（4/17）

| 番号 | 地域・国 | 情報記事・タイトル | 発行日 | 要旨 | 情報源 (機関・団体名/URL) |
|----|------|------------------------------|------------|--|--|
| 4 | 欧州 | 道路輸送の排出量を削減するためのEUの新規則に関する合意 | 2023/12/18 | 欧州議会と欧州理事会は、乗用車、バン、バス、トラック、トレーラーの道路交通排出ガスを削減するための新しい規則について暫定合意に達した。 自動車の型式承認および市場監視に関する規則（ユーロ7）は、クリーンなモビリティへの移行を支援し、自家用車および商用車の価格を市民や企業にとって手頃なものに維持することを目的としている。自動車はより長く新基準に適合する必要がある、耐用年数を通じてよりクリーンな状態を維持することができる。この協定が発効するには、議会と理事会が正式に承認する必要がある。この規制は、自動車とバンについては発効から30ヵ月後に、バス、トラック、トレーラーについては48ヵ月後に適用される（少量生産メーカーが製造する自動車については、自動車とバンについては2030年7月1日から、バスとトラックについては2031年7月1日から適用される） | European Parliament https://www.europarl.europa.eu/news/en/press-room/20231207IPR15740/euro-7-deal-on-new-eu-rules-to-reduce-road-transport-emissions |

【自動車】関連記事詳細 (5/17)

| 番号 | 地域・国 | 情報記事・タイトル | 発行日 | 要旨 | 情報源 (機関・団体名/URL) |
|----|------|---------------------------------|------------|---|---|
| 5 | イギリス | 英国とEUが貿易ルールを延長し、電気自動車への関税は回避される | 2023/12/21 | <p>英国とEUは、メーカーと消費者のコストを抑えるため、電気自動車に関する貿易規則を2026年末まで延長することで合意したと、首相が本日（12月21日）発表した。</p> <p>既存の貿易協力協定では、電気自動車とバッテリーについて段階的なアプローチが導入され、これらの原産地規則要件が段階的に引き上げられた。</p> <p>この段階的アプローチは、電気自動車が無関税貿易の対象となるための内容要件を今後3年間で引き上げるものである。これらは当初、当時の業界の能力を反映し、国内でのバッテリー生産への投資を奨励するために設計された。</p> <p>しかし、COVID-19パンデミックとロシアのウクライナ不法侵攻によるグローバル・サプライチェーンの混乱を認識し、英国とEUは2024年の変更を取りやめることで合意した。</p> <p>この合意により、英国とEUの電気自動車の無関税貿易が促進され、1月からこの貿易に10%の関税が課されなくなる。産業界は、これにより自動車メーカーと消費者の追加コストが最大で43億ポンド削減され、国内のバッテリーサプライチェーンの規模を拡大し、ネット・ゼロ公約の達成に向けた取り組みを継続する中で、このセクターに長期的な確実性がもたらされると期待されている。</p> <p>英国はまた、フォードなどトルコ市場への主要輸出業者である英国の自動車会社にとってさらなる追い風となるよう、英国・トルコ特恵貿易協定における同等の原産地規則の延長について、年末までに合意することを目指す。これにより、現行の原産地規則が2026年末までさらに3年間存続することになり、英国が来年トルコとの新たな近代的自由貿易協定の交渉を開始しようとしているなかでの合意となる。</p> <p>今回の合意は、英国およびEUの双方が、国内のバッテリー・サプライ・チェーンを強化するために協力することを約束したものである。英国首相は秋の施政方針で、英国全土の戦略的製造部門への民間投資を喚起するため、先進製造業計画を通じて5年間で45億ポンドを提供すると発表した。</p> <p>これには、ゼロ・エミッション車やそのバッテリー、サプライ・チェーンの製造・開発を支援するための、自動車部門向けの研究開発・資本資金20億ポンド超が含まれ、既存の支援に基づくものである。</p> | イギリス政府 https://www.gov.uk/government/news/tariffs-on-electric-vehicles-avoided-as-uk-and-eu-extend-trade-rules |

【自動車】関連記事詳細 (6/17)

| 番号 | 地域・国 | 情報記事・タイトル | 発行日 | 要旨 | 情報源 (機関・団体名/URL) |
|----|------|--------------------------------------|------------|--|---|
| 6 | 欧州 | ボルボ・カーズ、EIBの支援で完全な電気自動車化を目指す | 2024/01/04 | <p>ボルボ・カー・コーポレーションと欧州投資銀行（EIB）は、欧州連合（EU）が掲げるグリーン・トランスフォーメーション（環境配慮型社会への移行）に沿って、スウェーデンの自動車メーカーであるボルボ・カー・コーポレーションが完全な電気自動車とカーボンニュートラルへの移行を決定したことを支援するため、4億2,000万ユーロの融資契約を締結した。この事業は、世界的な排出と汚染の主な原因である道路交通の脱炭素化に貢献することが期待されている。</p> <p>EIBの資金は、新しい完全電気自動車プラットフォームの開発、電気自動車に必要な研究開発、資源効率の高い高度な製造技術の展開を支援する。欧州連合（EU）は、道路交通に関する環境規制を段階的に厳しくしており、今後10年の半ばまでに、販売されるすべての新型乗用車を排出ガスフリーにすることを目指している。</p> <p>このプロジェクトは、軽量化や充電の高速化など、電気自動車にとってより安全で持続可能な技術を生み出すことが期待されており、電気自動車購入のハードルを下げるのに役立つ。このように、このプロジェクトは、欧州と世界の両方において、ネット・ゼロ経済への公正かつ迅速な移行に資金を提供するというEIBの目標に完全に沿ったものである。</p> | European Investment Bank https://www.eib.org/en/press/all/2024-003-volvo-cars-to-go-fully-electric-with-eib-backing |
| 7 | 欧州 | 電気自動車のエネルギー効率と持続可能性を高める規格を策定する委員会を発表 | 2024/01/09 | <p>SAEはインテルとの共同発表で、2024年1月9日にラスベガスで開催されるコンシューマー・エレクトロニクス・ショーにおいて、車両プラットフォーム・パワー・マネジメント委員会（J3311）の設立を発表した。この新しいSAE標準委員会は、パソコン（PC）業界の先進的な電源管理コンセプトを採用・強化することで進歩を加速し、すべての電気自動車（EV）のエネルギー効率と持続可能性の向上を支援する。委員長はインテルが務める。</p> <p>新委員会の焦点は、車両プラットフォーム・パワー・マネジメントの自動車規格を開発することである。新しいSAE規格は、PC業界のACPI（Advanced Configuration and Power Interface）規格で実績のある電力管理技術にヒントを得て、OEMが実装の差別化を図りながら、コンテキストを意識した車両全体の最適な電力生成・消費を開発・展開できるようにするために必要な電子制御ユニット（ECU）インターフェースと機能を定義する。</p> <p>J3311委員会には、インテルのほか、ステランティス、HERE、モリシック・パワー・システムズ（MPS）が業界代表として参加している。委員会は、12～18ヶ月以内に最初の規格案を提出することを目標に、業界の追加参加を受け付けている。</p> | SAE https://www.sae.org/news/press-room/2024/01/sae-j3311-committee |

【自動車】関連記事詳細（7/17）

| 番号 | 地域・国 | 情報記事・タイトル | 発行日 | 要旨 | 情報源 (機関・団体名/URL) |
|----|------|---|------------|---|--|
| 8 | アメリカ | バイデン・ハリス政権、電気自動車充電ネットワークの構築継続に6億2,300万ドルの助成金を発表 | 2024/01/11 | <p>バイデン政権は、米国全土に電気自動車（EV）充電ネットワークを構築するための補助金6億2300万ドルを発表した。これは、便利で、手頃な価格で、信頼性が高く、アメリカ製のEV充電器の全国ネットワークを構築するというバイデン政権の目標の重要な部分である。</p> <p>発表された補助金は、超党派インフラ法の25億ドルの充電・燃料供給インフラ（CFI）裁量補助金プログラム（競争的資金調達プログラム）によって実現したもので、22の州とプエルトリコにおける47のEV充電・代替燃料供給インフラプロジェクトに資金を提供する。CFIプログラムは、50億ドルの国家電気自動車インフラ（NEVI）フォーミュラ・プログラムを補完するもので、国内の高速道路沿いに高速EV充電器の「バックボーン」を構築する。NEVIプログラムのおかげで、オハイオ州やニューヨーク州では新しい充電ステーションがオープンし、ペンシルベニア州やメイン州では着工した。</p> | <p>アメリカ政府</p> <p>https://highways.dot.gov/newsroom/biden-harris-administration-announces-623-million-grants-continue-building-out-electric</p> |
| 9 | 欧州 | TÜV SÜD、デンソーに自動車サイバーセキュリティのISO/SAE 21434認証を発行 | 2024/01/29 | <p>TÜV SÜDは、株式会社デンソーの製品ライフサイクルを通じたプロセスに対して、ISO/SAE 21434:2021の認証を発行した。この規格は、自動車産業におけるサイバーセキュリティの国際規格であり、サイバー攻撃のリスクを最小化するための製造から廃棄までのガイドラインを提供している。この認証により、デンソーは、自社の車両コンポーネントとシステムが安全な開発プロセスを通じて提供されていることを、第三者によって客観的に検証されたことを証明することができる。</p> <p>コネクテッドカーなど自動車関連技術の向上に伴い、サイバーセキュリティ対策の重要性も高まっている。欧州では、2022年7月以降、自動車の型式承認においてサイバーセキュリティ要件（UNECE R 155に準拠）の実施が義務化された。また、2024年7月からは、承認された車種には同規制への適合が義務付けられる。日本でも規制の導入を含めた安全基準が施行される中、規制対応の参考ガイドラインとして国際規格ISO/SAE 21434:2021が注目されている。</p> | <p>TÜV SÜD</p> <p>https://www.tuvsud.com/en/press-and-media/2024/january/tuv-sud-issues-iso-sae-21434-to-denso</p> |

【自動車】関連記事詳細 (8/17)

| 番号 | 地域・国 | 情報記事・タイトル | 発行日 | 要旨 | 情報源 (機関・団体名/URL) |
|----|------|--|------------|--|---|
| 10 | フランス | ヴァレオ、UTACより自動車サイバーセキュリティのベンチマーク規格であるISO/SAE 21434認証を取得 | 2024/02/01 | <p>ヴァレオは、自動車サイバーセキュリティのベンチマーク規格であるISO/SAE 21434の認証を取得した。この認証書は、ヴァレオのサイバーセキュリティ担当副社長兼CISOであるフローラン・ハルボット（Florent Halbot）氏とUTACの会長兼CEOであるコナー・マコーマック（Connor McCormack）氏の出席のもと、ヴァレオ本社で行われた調印式でUTACから授与された。</p> <p>ISO/SAE21434認証は、自動車用サイバーセキュリティの基準規格であり、車載システムの保守・撤去を含め、製品のライフサイクル全体を通してサイバーセキュリティ・リスクの管理をカバーしている。現在、4つの事業グループ、派生製品、アフターセールス事業を含む、世界中のヴァレオの全活動が、このサイバーセキュリティ認証の対象となっている。この認証は、ヴァレオグループのすべての事業領域における高いレベルのパフォーマンスとセキュリティを証明するものである。</p> | <p>Valeo</p> <p>https://www.valeo.com/en/valeo-is-certified-iso-sae-21434-the-benchmark-for-automotive-cybersecurity-by-utac/</p> |
| 11 | アメリカ | HERE TechnologiesがAWS Automotive Competencyを取得 | 2024/02/13 | <p>ロケーションデータおよびテクノロジープラットフォームのリーディングカンパニーであるHERE Technologiesは本日、Amazon Web Services（AWS）のオートモーティブ・コンピテンシーを取得したことを発表した。このコンピテンシーは、自動車業界の顧客のデジタルトランスフォーメーションを加速し、先進運転支援システム（ADAS）、自律走行車（AV）、コネクテッドモビリティ、デジタルカスタマーエンゲージメント、持続可能性、電気自動車（EV）、サプライチェーン、ソフトウェア定義車両（SDV）の戦略的ワークロードにおいて効率性と俊敏性を向上させるプロフェッショナルサービスとソフトウェアソリューションを顧客に提供するHEREの専門性を評価するものである。</p> <p>AWSオートモーティブ・コンピテンシーを取得することで、HEREはAWS Partner Network（APN）メンバーとして、自動車業界向けにAWS上でクラウドソリューションを実行する際の技術的な熟練度や顧客実績が実証され、差別化される。このプログラムは、HEREのような自動車業界の深い知識を持ち、業界にクラウドサービスを提供しているAWSパートナーを紹介するものである。AWS Automotive Competencyの指定を受けるには、AWSパートナーは厳格な技術検証を受け、吟味された顧客リファレンスを提供しなければならない。</p> | <p>HERE</p> <p>https://www.here.com/about/press-releases/en/here-technologies-achieves-aws-automotive-competency</p> |

【自動車】関連記事詳細 (9/17)

| 番号 | 地域・国 | 情報記事・タイトル | 発行日 | 要旨 | 情報源 (機関・団体名/URL) |
|----|------|--|------------|---|--|
| 12 | アメリカ | USCAR、CESMIIとの提携による「自動車スマート製造ロードマップ」の発行を発表 | 2024/02/14 | <p>米国自動車研究評議会（USCAR）は本日、米国における生産性、競争力、回復力のある自動車製造環境を実現するため、プラットフォームとアプリケーションの標準ベースのオープン性と相互運用性を実現する「自動車スマート製造のためのロードマップ」を発表した。</p> <p>このロードマップは、フォード、GM、ステランティスメンバーとするUSCARのワーキンググループが、CESMII（The Smart Manufacturing Institute）と協力して作成した。ロードマップの範囲には、製造システムの相互運用性を向上させ、レガシー・プラットフォームのデジタル・サイロを打破する戦略が含まれている。</p> <p>スマート・マニュファクチャリングでは、最適なパフォーマンスを実現するために、高度な自動化と現場のシステム統合が必要となる。これらのシステムは、数十年にわたり、独自性の高い閉鎖的な方法で進化してきた。その結果、互換性のないマシン・コミュニケーションが発生し、自動車メーカーにとって製品立ち上げの遅延や複雑さが生じている。これらの機械の相互運用性と拡張性は、コスト効率の高い運用と実行可能性を確保するために不可欠である。</p> <p>ロードマップは、米国においてより生産的で持続可能な自動車製造環境を育成するために不可欠な3つの極めて重要な戦略に焦点を当てている：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工場内およびバリューチェーン全体におけるデジタルプロセスのリアルタイム、データ駆動型ビジネスオペレーションによるコラボレーション。目標：柔軟で俊敏なプロセスとサプライチェーンを、変化する市場の需要に合わせて容易に再構成する。 ・標準化されたオープンなインターフェイスに基づくアプリケーションとデータの相互運用性により、データのサイロ化、縦割りアーキテクチャ、ベンダーの囲い込みを排除し、イノベーションを可能にする。目標：複雑さを軽減し、効率性とイノベーションの俊敏性を向上させる。 ・教育、人材開発、継続的改善戦略を整合させ、データ主導の文化を創造するスマート・マニュファクチャリング・マインドセットを開発する。目標：リソースと人材を調整する組織構造を構築する。 | <p>CESMII</p> <p>https://www.cesmii.org/uscar-automotive-sm-roadmap/</p> |

【自動車】関連記事詳細 (10/17)

| 番号 | 地域・国 | 情報記事・タイトル | 発行日 | 要旨 | 情報源 (機関・団体名/URL) |
|----|------|--|------------|--|---|
| 13 | ベルギー | Euro NCAP、アクティブセーフティ試験において英国のHORIBA MIRA社との協力関係を強化 | 2024/02/29 | Euro NCAPは本日、HORIBA MIRAの試験所認定を延長し、乗用車および小型商用車のアクティブセーフティシステムの公式試験を実施できるようにしたことを発表した。英国の有名な試験所であるHORIBA MIRAは、すでに2012年からユーロNCAPとパッシブセーフティ試験で協力しており、現在、ユーロNCAPの次期セーフトラックプログラムの新しい試験プロトコルの開発を支援している。このマルチモーダル施設は、アシスト、自動運転、コネクテッド・ドライビングの制御された再現可能な試験に使用できる複数の実環境および仮想試験環境を備えている。 | Euro NCAP https://www.euroncap.com/en/press-media/press-releases/euro-ncap-strengthen-cooperation-with-uk-s-horiba-mira-in-active-safety-testing/ |
| 14 | オランダ | ステランティス社、南米における56億ユーロの投資を発表、同地域の自動車産業における最大の投資となる | 2024/03/06 | ステランティスは本日、南米地域における2025年から2030年までの総額56億ユーロ（300億リアル）の記録的な投資計画を発表した。計画されている投資は、期間中に40以上の新製品の発売をサポートするほか、新しいバイオハイブリッド技術の開発、自動車サプライチェーン全体にわたる革新的な脱炭素技術、戦略的な新規事業機会を支援する。ステランティス社からの投資は、同地域における同社のリーダーシップを強化し、地域産業の発展を強化し、ブラジルと南米におけるクリーンで安全かつ安価なモビリティの提供における同地域のリーダーシップを維持しながら、長期戦略計画「デア・フォワード2030」の達成を加速させるものである。この投資の恩恵を受けているのが、最先端のバイオハイブリッド技術である。バイオハイブリッド技術は、バイオ燃料（エタノール）を動力源とするハイブリッド・エンジンと電動化を3つの異なるレベルで組み合わせたものである。ブラジルのベティムにあるステランティスの施設は、バイオ・ハイブリッド技術における当社のグローバルな専門センターであり、その革新の遺産を引き継いでいる。ステランティスはフィアット・ブランドのもと、100%エタノールを使用するバイオ燃料エンジン技術の開発と応用のパイオニアである。将来的には、この地域ではバッテリー電気自動車（BEV）も生産される。 | Stellantis https://www.stellantis.com/en/news/press-releases/2024/march/stellantis-announces-5-6-billion-investment-in-the-american-marking-the-largest-investment-in-the-region-s-automotive-industry |

【自動車】関連記事詳細 (11/17)

| 番号 | 地域・国 | 情報記事・タイトル | 発行日 | 要旨 | 情報源 (機関・団体名/URL) |
|----|------|--|------------|--|--|
| 15 | 中国 | CATL、フォルクスワーゲン社からモジュール試験で認証を受けた世界初の電池メーカーとなる | 2024/04/11 | <p>CATLのドイツ工場は4月9日、フォルクスワーゲン・グループ (Volkswagen) からモジュール試験とセル試験の両方の認証を取得し、同社からモジュール試験の認証を受けた世界初の電池メーカーとなった。(CATLのニンデ工場は、フォルクスワーゲンのセル試験センターとして認定された世界初のバッテリー工場である)。今回の認証取得は、CATLの試験・検証能力、技術力、品質管理基準が国際的に著名な自動車メーカーに認められたことを示すものである。また、CATLが世界市場で存在感を高め、世界中の自動車会社にサービスを提供するという戦略を強く証明するものでもある。</p> <p>フォルクスワーゲンは、厳格な品質管理、安全基準、性能要件、環境規制をもとに、バッテリーの開発とテストに貴重な知見を提供し、さまざまな車両アプリケーションシナリオにおけるバッテリー製品の安全性とインテリジェントな管理を保証している。</p> | <p>CATL</p> <p>https://www.catl.com/en/news/6237.html</p> |
| 16 | ドイツ | IPAとCatena-Xが自動車業界のデータ共有相互運用性に関するMOUを締結 | 2024/04/22 | <p>独立行政法人情報処理推進機構 (IPA) とCatena-X Automotive Network e.V.は、自動車産業データ共有相互運用性概念実証 (PoC) に関する覚書の締結を発表した。IPAのデジタル・アーキテクチャ・デザイン・センターとCatena-Xは、各地域や国特有の境界や条件を尊重しつつ、業界のバリューチェーン全体でデータ共有の基本的価値を共有することの重要性を再確認した。MOUの下、IPAとCatena-Xは、相互運用性PoCの準備と評価において協力・連携することに合意した。以下は、協議内容の一例である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・システム接続方式 ・ユーザー認証方法 ・データ転送方式 ・セマンティクス/データモデル ・データアクセス・利用ポリシー <p>IPAとCatena-Xは、2024年12月31日までに相互運用性確立のための判定完了を目指し、イニシアティブを実行する。</p> | <p>Catena-X Automotive Network e.V.</p> <p>https://catena-x.net/en/news-dates/artikel/collaboration-agreement-between-catena-x-and-ouranos</p> |

【自動車】関連記事詳細 (12/17)

| 番号 | 地域・国 | 情報記事・タイトル | 発行日 | 要旨 | 情報源 (機関・団体名/URL) |
|----|------|-----------------------------------|------------|---|--|
| 17 | 中国 | CATLと北京現代がEV用バッテリーに関する戦略的契約を締結 | 2024/04/25 | <p>CATLと北京現代はAuto China 2024で、北京現代のEVプロジェクトで協力し、将来の北京現代の電気自動車モデルにCATLのバッテリーを搭載する戦略的パートナーシップ契約を締結した。北京現代は、21年にわたり中国に深く進出している合併企業として、中国で1200万台以上の自動車を販売し、信頼できる自動車製造能力を証明してきた。2017年にCATLとの協力関係が始まって以来、北京現代は一連の人気モデルを発売し、累計販売台数は20万台を超えた。</p> <p>新たな協定の締結により、北京現代はCTPやNPを含むCATLの最新バッテリー技術を搭載した10車種以上の主要グローバルモデルを次々と発表する見通しだ。CATLは、その技術的優位性を活用し、北京現代と協力して高品質の自動車製品を開発し、北京現代の中国における事業成長をサポートする。製品開発への焦点を共有することで、両社にとってWin-Winの関係を築くことができる。</p> | CATL https://www.catl.com/en/news/6238.html |
| 18 | アメリカ | NHTSA、衝突事故削減と人命救助のための重要な安全規則を最終決定 | 2024/04/29 | <p>米運輸省道路交通安全局（NHTSA）は、歩行者用AEBを含む自動緊急ブレーキ（AEB）を2029年9月までにすべての乗用車と小型トラックに標準装備する新たな連邦自動車安全基準を最終決定した。この安全基準により、追突事故と歩行者事故が大幅に減少すると期待されている。NHTSAは、この新基準FMVSS No.127によって、少なくとも年間360人の命を救い、少なくとも年間24,000人の負傷を防ぐことができると予測している。AEBシステムは、車両が前方の車両や歩行者に衝突しそうなことをセンサーで検知し、ドライバーが衝突していなければ自動的にブレーキをかける。歩行者AEB技術は、昼間でも夜間の暗い状況でも歩行者を検知する。</p> <p>この基準は、すべての乗用車にAEBを装備することを義務付ける最低性能基準を定めるという超党派インフラ法の規定を満たすものである。この規格はまた、交通事故死者数と重傷者数の国家的危機に対処するために2022年1月に開始された同省の国家道路安全戦略を前進させるものでもある。国家道路安全戦略は安全システム・アプローチを採用し、より安全な道路、より安全な人々、より安全な車両、より安全な速度、より良い事故後のケアによって何重もの保護を構築するものである。安全システム・アプローチのパートとして、この新しい車両安全基準は、より安全な車両と、衝突防止に役立つ車両システムや機能の拡充に向けたUSDOTの取り組みに焦点を当てている。</p> | NHTSA https://www.nhtsa.gov/press-releases/nhtsa-fmvss-127-automatic-emergency-braking-reduce-crashes |

【自動車】関連記事詳細 (13/17)

| 番号 | 地域・国 | 情報記事・タイトル | 発行日 | 要旨 | 情報源 (機関・団体名/URL) |
|----|------|--|------------|---|---|
| 19 | イギリス | 自動運転車法が成立し、2026年までに自動運転車が道路を走る予定 | 2024/05/20 | <p>政府による世界をリードする自動運転車（AV）法が成立し、2026年までにイギリスの道路を自動運転車が走るようになるかもしれない。</p> <p>英国国王演説で発表されたAV法は、先進技術によって英国の道路を安全に走行することを可能にする。この新法により、英国は自動運転技術規制の最前線に立つことになり、2035年までに最大420億ポンドと推定される産業の可能性を解放し、38,000人以上の技能職を創出することになる。</p> <p>交通安全がこの法律の中心であり、自動運転車は交通事故の88%の原因となっているヒューマンエラーを減らすことで交通安全を向上させると期待されている。</p> <p>この法律は、自動運転車に対し、注意深く有能な人間のドライバーと同等以上の安全レベルを達成することを義務付けるとともに、道路への乗り入れを許可する前に厳しい安全チェックをクリアすることを求めている。そのため、将来的には飲酒運転、スピード違反、疲労、不注意による死傷者が激減する可能性がある。</p> | イギリス政府 https://www.gov.uk/government/news/self-driving-vehicles-set-to-be-on-roads-by-2026-as-automated-vehicles-act-becomes-law |
| 20 | 欧州 | EIBとCIEオートモーティブ、欧州自動車セクター向け先端技術の研究開発に3,600万ユーロの融資に調印 | 2024/05/31 | <p>欧州投資銀行（EIB）とCIEオートモーティブは、同社の研究・開発・革新活動および自動車分野向け高付加価値部品の製造への応用に資金を提供するため、3,600万ユーロ相当の融資に調印した。この融資はまた、デジタル化による工程の最適化、より持続可能な製造技術の開発へのCIEオートモーティブの投資を支援する。</p> <p>これらの投資は、スペイン、ドイツ、フランス、イタリアにあるCIEオートモーティブの工場で実施される。</p> | European Investment Bank https://www.eib.org/en/press/all/2024-194-eib-and-cie-automotive-sign-36-million-loan-for-research-and-development-in-advanced-technologies-for-the-european-automotive-sector |

【自動車】関連記事詳細 (14/17)

| 番号 | 地域・国 | 情報記事・タイトル | 発行日 | 要旨 | 情報源 (機関・団体名/URL) |
|----|------|--------------------------------------|------------|--|---|
| 21 | アメリカ | 米運輸省、2027～2031年モデルの新燃費基準を最終決定 | 2024/06/07 | <p>米国運輸省道路交通安全局は本日、米国人の燃料費を230億ドル以上節約すると同時に、公害を削減する新燃費基準を発表した。</p> <p>この規則では、乗用車の燃費は2027年から2031年のモデルイヤーで年率2%向上し、小型トラックの燃費は2029年から2031年のモデルイヤーで年率2%向上する。これらの引き上げにより、2031年モデルまでに小型車の平均燃費は1ガロン当たり約50.4マイルになり、乗用車と小型トラックの所有者は、車の耐用年数中に600ドル以上の燃料を節約できることになる。</p> <p>大型ピックアップトラックとバンの燃費は、2030-2032年モデルでは年率10%、2033-2035年モデルでは年率8%向上する。この結果、2035年モデルまでには、フリート全体の平均でガロンあたり約35マイルとなり、大型ピックアップトラックとバンのオーナーは、車の耐用年数を通じて700ドル以上の燃料を節約することになる。</p> | <p>U.S. Department of Transportation</p> <p>https://www.transportation.gov/briefing-room/usd-finalizes-new-fuel-economy-standards-model-years-2027-2031</p> |
| 22 | アメリカ | ULソリューションズ、韓国に先進自動車・バッテリー試験センターを建設予定 | 2024/06/26 | <p>UL Solutionsは、韓国京畿道平沢市に自動車・バッテリー試験センターを新設し、同地域におけるULソリューションズのバッテリー試験能力を拡大するとともに、電気自動車（EV）の充電器試験などの機能を追加する計画を発表した。</p> <p>2025年後半に開設予定の同センターは、アジア太平洋地域の顧客にサービスを提供するため、韓国のEV産業の強化、新規・既存顧客の需要増への対応、安全・性能試験やその他のサービスへの迅速なアクセスに貢献する。</p> <p>新施設の建設は、ゾーニングを含む地方自治体の承認が必要であり、EVバッテリーの試験能力を拡大することになる。この試験所は、最近平沢に開設されたULソリューションズ・コリア・アドバンスド・バッテリー・ラボラトリーで使用されている技術を活用し、信頼性と性能の試験を行う。また、EV充電器試験室やEVバッテリー材料試験室も計画されている。さらに、同センターは、米国のULソリューションズで使用されている技術を導入し、可燃性や性能を含む自動車用プラスチックの安全性を試験するために建設される。今回の自動車・バッテリー試験センターは、既存の平沢の施設に加え、中国・常州のUL Solutions E-Mobility and Energy Laboratory、ドイツ・アーヘンのBatterieIngenieure by UL Solutions、米国ミシガン州オーバーン・ヒルズに建設中のUL Solutions North America Advanced Battery Laboratoryなど、世界各地のULソリューションズのバッテリー試験施設を補完するものである。</p> | <p>UL Solutions</p> <p>https://www.ul.com/news/ul-solutions-plans-construct-advanced-automotive-and-battery-testing-center-korea</p> |

【自動車】関連記事詳細（15/17）

| 番号 | 地域・国 | 情報記事・タイトル | 発行日 | 要旨 | 情報源 (機関・団体名/URL) |
|----|------|------------------------------------|------------|--|---|
| 23 | 欧州 | TÜV SÜDがシュトラウビングに新研究所を開設 | 2024/06/27 | TÜV SÜDは、ニーダーバイエルン州への継続的な投資の一環として、シュトラウビングのブダペスター通り7番地に新しいラボを開設した。新試験所は、新エネルギー自動車用コンポーネント試験、バッテリー技術、環境シミュレーション、防爆など、いくつかの主要分野における試験・検査・認証（TIC）企業の能力と能力を拡大する。2019年の新しいEMC吸収体ホールの建設に続き、TÜV SÜDは、1,300平方メートルの新しい試験所と必要な測定機器に500万ユーロを投資した。シュトラウビング・センター・オブ・コンピテンスの試験所は、ドイツ語圏と国際市場の両方に製品試験を提供している。シュトラウビングの拠点は、顧客にフルサービスのパッケージを提供している。試験所で実施される試験には、EMC試験、無線機器試験、電気安全試験、産業・鉄道分野および自動車製品の環境シミュレーション試験などがある。試験所の測定機器により、専門家はドイツ語圏のドイツ、オーストリア、スイス（DACH地域）および米国・カナダ、日本などの国々を対象に、医療機器、家電製品、産業機器、無線機器、自動車分野の測定・試験を実施することができる。 | TÜV SÜD https://www.tuvsud.com/en/press-and-media/2024/june/tuev-sued-opens-new-laboratory-in-straubing |
| 24 | 国際 | 自動車イノベーション連盟が米国の電気自動車に関する新たなデータを報告 | 2024/07/02 | 自動車イノベーション連盟は、2024年第1四半期の米国電気自動車（EV）市場に関する州別の独占分析を発表した。 Get Connected Electric Vehicle Report(Q1 2024) は、全50州におけるEVの販売・購入動向をまとめたものである。 本レポートには、パワートレイン別の小型車市場シェアの内訳（2016～2024年）や、連邦政府30D EV税額控除の対象となるEVの最新情報が含まれている。 | 自動車イノベーション連盟（Alliance for Automotive Innovation） https://www.autosinnovate.org/posts/press-release/2024-q1-get-connected-press-release |

【自動車】関連記事詳細 (16/17)

| 番号 | 地域・国 | 情報記事・タイトル | 発行日 | 要旨 | 情報源 (機関・団体名/URL) |
|----|------|--|------------|---|--|
| 25 | アメリカ | 米自動車労働者支援と電気自動車用設備転換に約20億ドルを拠出すると発表 | 2024/07/11 | 米エネルギー省 (DOE) は、ミシガン州、オハイオ州、ペンシルベニア州、ジョージア州、イリノイ州、インディアナ州、メリーランド州、バージニア州の8州にわたり、閉鎖された、あるいは閉鎖の危機にある11の自動車製造・組立施設の電気自動車製造とそのサプライチェーンへの転換を支援するため、17億ドルを拠出すると発表した。この発表は、アメリカの中産階級を築くのに貢献してきた製造業のコミュニティと労働者に再投資し、活性化させるというバイデン大統領の深いコミットメントを反映している。これらの投資は、何千もの高賃金の組合雇用を創出・維持し、何世代にもわたって米国経済を牽引してきた米国の自動車コミュニティを支援する。これらの投資は、自動車産業の未来がアメリカの組合員によってアメリカで作られ、アメリカが21世紀の競争に勝つことを確実にするという大統領の公約を実現するものである。 | U.S. Department of Energy (DOE) https://www.energy.gov/articles/biden-harris-administration-announces-nearly-2-billion-support-american-auto-workers |
| 26 | 欧州 | 自動車メーカーは、5G特許プールAvanciに対し、SEPライセンスで模範を示すよう要請 | 2024/07/11 | 欧州自動車工業会 (ACEA) と5つの主要自動車団体は、共同書簡でパテントプール運営者に透明性を維持するよう求める。 6つの主要自動車団体は、コネクテッドカーでの5G利用に不可欠なライセンスに関する主要なパテントプール運営会社であるAvanciに書簡を送った。 書簡では、Avanciに対し、標準必須特許 (SEP) ライセンスに関するEU規則案の原則を尊重し、どの特許がプログラムに含まれるかについて、より透明性を高めるよう求めている。具体的には、特許の必須性がどのように評価されるのか、また、ロイヤルティが公正、合理的かつ非差別的 (FRAND) であるように決定されるのかについてである。 EUが提案するSEPライセンス規則が速やかに採用されない限り、自動車業界や、モノのインターネット (IoT) の中で接続された製品やサービスを提供する他の企業は、公正かつ合理的な条件で無線技術を使用するためのライセンスを取得する上で問題に直面し続けるだろう。 | ACEA https://www.acea.auto/news/automakers-urge-5g-patent-pool-avanci-to-lead-by-example-in-sep-licensing/ |

【自動車】関連記事詳細 (17/17)

| 番号 | 地域・国 | 情報記事・タイトル | 発行日 | 要旨 | 情報源 (機関・団体名/URL) |
|----|------|---|------------|--|---|
| 27 | 欧州 | EIB、自動車用先進ブレーキおよびステアリングの開発でZFを支援 | 2024/07/15 | <p>欧州投資銀行（EIB）は、ドイツの自動車部品サプライヤーであるゼット・エフ・フリードリヒスハーフェン社（ZF Friedrichshafen AG）に対し、4億2,500万ユーロの融資を行う。この資金により、ゼット・エフ社は、ブレーキおよびステアリング・システムの革新的技術の研究開発に総額13億ユーロを投資し、ソフトウェア定義の自動車への転換を積極的に進めていく。</p> <p>今回の融資は、ステアリングホイールとステアリングシステム間の機械的な接続をなくすステア・バイ・ワイヤシステムを含む、X-バイ・ワイヤ技術の開発に資金を提供するものだ。これらの技術は、より高度な車両自動化の基礎となるものである。より優れた車両制御、より柔軟なステアリング操作、高速走行時の走行安定性の向上、ひいては安全性と快適性の全体的な向上につながる。</p> <p>このイノベーション・プロジェクトでは、ハードウェア・コンポーネントとともに、ソフトウェアも中心的な役割を果たしている。このイニシアチブは、自動車業界におけるハードウェア・コンポーネントの個別制御から、包括的なドメイン・アーキテクチャやゾーン・アーキテクチャへの明確な流れに沿ったものである。新しい電気・電子自動車アーキテクチャーは、自動車の特定の機能領域のすべてのソフトウェアを中央制御ユニットにバンドルする。これは自律走行に向けた重要なステップである。</p> <p>その結果、このプロジェクトは欧州におけるより効率的で持続可能なモビリティの実現に貢献することになる。計画されている投資の約30%は、ポーランド、ルーマニア、チェコ共和国などのEU結束地域で行われる。</p> | European Investment Bank https://www.eib.org/en/press/all/2024-278-eib-supports-zf-in-developing-advanced-braking-and-steering-for-cars |
| 28 | 欧州 | EIBグローバル、自動車産業の脱炭素化を加速するために7,300万ユーロを投資 | 2024/07/23 | <p>欧州投資銀行（EIB）の欧州連合（EU）域外での活動部門であるEIB Globalは、ステランティス・グループ傘下のフィアット・クライスラー・オートモービルズ（FCA）セルビアに対し、クラグジェヴァツにある自動車製造施設を近代化し、設備を整え、新しい電気自動車プラットフォームを生産するために、7,300万ユーロの融資を行う。このプロジェクトは、欧州自動車産業のグリーン転換を支援し、競争力を高め、技術と専門知識の移転を可能にすることを目的としている。西バルカン諸国におけるEUの対外直接投資としては最大級のものであり、この資金はさらに民間資本をこの地域に呼び込むことも期待されている。</p> <p>この投資には、小型電気自動車をより手頃な価格で効率的にし、性能を向上させる高度な製造ソリューションの統合と展開が含まれる。さらにFCAセルビアは、工場で必要なエネルギーの一部を生産するため、太陽光発電設備を設置する。同社はまた、新技術の運用を可能にするため、従業員のスキルアップと再教育も行う。全体として、このプロジェクトは、より効率的で持続可能な欧州交通システムの開発に貢献する。</p> | European Investment Bank https://www.eib.org/en/press/news/serbia-eib-global-to-invest-eur73-million-to-speed-up-decarbonisation-of-automotive-industry |



海外標準化動向調査(2月)

令和6年度エネルギー需給構造高度化基準認証推進事業費(我が国の国際標準化戦略を強化するための体制構築)
2025年2月1日

一般財団法人日本規格協会

ピックアップ：自動車（関連ニュース番号15）



| | | |
|---|--|--|
| トピック | インテリジェントコネクテッドビークルに関する3つの国家強制規格が正式に発表された | |
| 推進組織 | 中国政府 | |
| 内容 | ポイント | |
| | <ul style="list-style-type: none">発表された3つの基準は、中国におけるインテリジェントコネクテッドビークル分野における初の強制力のある国家基準である。 | |
| | 背景 | |
| | <ul style="list-style-type: none">インテリジェントネットワーク化された自動車製品の安全性を向上させるため、工業情報化部は2019年より、中国のインテリジェントネットワーク化された自動車産業の管理ニーズ、産業の実情、技術進歩のニーズに基づき、インテリジェントネットワーク化された自動車分野における関連の強制国家標準の策定を順次開始した自動車関連の強制国家規格を打ち出した。その開発プロセスにおいては、UN R155「情報セキュリティおよび情報セキュリティ管理システムに関する車両承認の統一規則」やUN R156「ソフトウェアアップデートおよびソフトウェアアップデート管理システムに関する車両承認の統一規則」などの国際規則と完全に整合している。 | |
| 概要 | | |
| <ul style="list-style-type: none">2026年1月1日から実施される3つの基準は、中国におけるインテリジェントコネクテッドビークル分野における初の強制力のある国家基準である。これらは、中国におけるインテリジェントコネクテッドビークル技術の革新的な成果であり、経験の集大成であり、インテリジェントコネクテッドビークルの安全レベルの向上と業界の健全かつ持続可能な発展にとって非常に重要な意義を持つ。 | | |
| <table border="1"><tr><td data-bbox="248 981 853 1096">GB 44495-2024 「自動車情報セキュリティの技術的要求事項」</td><td data-bbox="853 981 2177 1096">自動車情報セキュリティ管理システムに関する要求事項、外部接続セキュリティ、通信セキュリティ、ソフトウェアアップグレードセキュリティ、データセキュリティなどの技術的要求事項とテスト方法を規定している。少なくとも1つの電子制御ユニットを搭載したM、N、Oカテゴリーの自動車に適用される。中国の自動車製品のセキュリティ保護の技術レベルを向上させ、業界チェーンのリスク防止能力とサイバー攻撃への対応能力を強化し、自動車情報セキュリティ保護の強固なベースラインを構築する上で非常に重要な意味を持つ。</td></tr></table> | GB 44495-2024 「自動車情報セキュリティの技術的要求事項」 | 自動車情報セキュリティ管理システムに関する要求事項、外部接続セキュリティ、通信セキュリティ、ソフトウェアアップグレードセキュリティ、データセキュリティなどの技術的要求事項とテスト方法を規定している。少なくとも1つの電子制御ユニットを搭載したM、N、Oカテゴリーの自動車に適用される。中国の自動車製品のセキュリティ保護の技術レベルを向上させ、業界チェーンのリスク防止能力とサイバー攻撃への対応能力を強化し、自動車情報セキュリティ保護の強固なベースラインを構築する上で非常に重要な意味を持つ。 |
| GB 44495-2024 「自動車情報セキュリティの技術的要求事項」 | 自動車情報セキュリティ管理システムに関する要求事項、外部接続セキュリティ、通信セキュリティ、ソフトウェアアップグレードセキュリティ、データセキュリティなどの技術的要求事項とテスト方法を規定している。少なくとも1つの電子制御ユニットを搭載したM、N、Oカテゴリーの自動車に適用される。中国の自動車製品のセキュリティ保護の技術レベルを向上させ、業界チェーンのリスク防止能力とサイバー攻撃への対応能力を強化し、自動車情報セキュリティ保護の強固なベースラインを構築する上で非常に重要な意味を持つ。 | |
| <table border="1"><tr><td data-bbox="248 1096 853 1211">GB 44496-2024 「自動車ソフトウェアアップグレードの一般技術要求事項」</td><td data-bbox="853 1096 2177 1211">自動車ソフトウェアアップグレードの管理システム要求事項を規定し、ユーザー通知、バージョン番号の読み取り、セキュリティ保護、前提条件、電力保証、故障処理などの車両ソフトウェアアップグレード機能の技術要求事項およびテスト方法を規定している。ソフトウェアアップグレード機能を備えたM、N、Oカテゴリーの車両に適用され、自動車企業のソフトウェアアップグレード行為を規範化し、消費者の権益を保護し、ソフトウェアアップグレード監督政策を実施するための強固な基準基盤を築く。</td></tr></table> | GB 44496-2024 「自動車ソフトウェアアップグレードの一般技術要求事項」 | 自動車ソフトウェアアップグレードの管理システム要求事項を規定し、ユーザー通知、バージョン番号の読み取り、セキュリティ保護、前提条件、電力保証、故障処理などの車両ソフトウェアアップグレード機能の技術要求事項およびテスト方法を規定している。ソフトウェアアップグレード機能を備えたM、N、Oカテゴリーの車両に適用され、自動車企業のソフトウェアアップグレード行為を規範化し、消費者の権益を保護し、ソフトウェアアップグレード監督政策を実施するための強固な基準基盤を築く。 |
| GB 44496-2024 「自動車ソフトウェアアップグレードの一般技術要求事項」 | 自動車ソフトウェアアップグレードの管理システム要求事項を規定し、ユーザー通知、バージョン番号の読み取り、セキュリティ保護、前提条件、電力保証、故障処理などの車両ソフトウェアアップグレード機能の技術要求事項およびテスト方法を規定している。ソフトウェアアップグレード機能を備えたM、N、Oカテゴリーの車両に適用され、自動車企業のソフトウェアアップグレード行為を規範化し、消費者の権益を保護し、ソフトウェアアップグレード監督政策を実施するための強固な基準基盤を築く。 | |
| <table border="1"><tr><td data-bbox="248 1211 853 1332">GB 44497-2024 「インテリジェントコネクテッドビークル - 自動運転データ記録システム」</td><td data-bbox="853 1211 2177 1332">インテリジェントコネクテッドビークルの自動運転データ記録システムのデータ記録、データ保存および読み取り、情報セキュリティ、衝突安全性、環境評価などの面における技術的要件および試験方法を規定している。M、Nカテゴリーの車両に搭載された自動運転データ記録システムに適用される。事故の責任の確定および原因分析に技術的サポートを提供し、自動運転の技術進歩を促進する。</td></tr></table> | GB 44497-2024 「インテリジェントコネクテッドビークル - 自動運転データ記録システム」 | インテリジェントコネクテッドビークルの自動運転データ記録システムのデータ記録、データ保存および読み取り、情報セキュリティ、衝突安全性、環境評価などの面における技術的要件および試験方法を規定している。M、Nカテゴリーの車両に搭載された自動運転データ記録システムに適用される。事故の責任の確定および原因分析に技術的サポートを提供し、自動運転の技術進歩を促進する。 |
| GB 44497-2024 「インテリジェントコネクテッドビークル - 自動運転データ記録システム」 | インテリジェントコネクテッドビークルの自動運転データ記録システムのデータ記録、データ保存および読み取り、情報セキュリティ、衝突安全性、環境評価などの面における技術的要件および試験方法を規定している。M、Nカテゴリーの車両に搭載された自動運転データ記録システムに適用される。事故の責任の確定および原因分析に技術的サポートを提供し、自動運転の技術進歩を促進する。 | |

【自動車】関連記事詳細 (1/11)

| 番号 | 地域・国 | 情報記事・タイトル | 発行日 | 要旨 | 情報源 (機関・団体名/URL) |
|-----|------|---------------------------------|------------|---|---|
| 1-1 | 国際 | ISO/TC22/SC37 における規格開発 状況 | 2024/12/16 | <p>ISO/TC 22(Road vehicles:道路車両)では、活動範囲として「安全性、セキュリティ、持続可能性、互換性、互換性、メンテナンス、性能評価、品質に関する全ライフサイクルにおいて、公道での運用が承認されたあらゆる種類の道路運送車両とそのインターフェースのあらゆる側面」を対象として標準化活動を行っている。フランスが幹事国を担当、国内審議団体は公益社団法人 自動車技術会が務めている。 ※TC22の詳しい活動内容は、自動車技術会発行の「自動車の標準化2022」に記載されているので参照されたい。</p> <p>TC22は、SC31からSC41までの11のSC(分科会)により構成されており、この中で、日本は電子・電装部品及びシステムを扱うSC32の議長・幹事国と、モーターサイクル・モペッドを扱うSC38の議長国を担当している。</p> <p>ISO/TC22/SC37(電気推進車両)は、電気推進道路車両、電気推進システム、関連コンポーネント、およびそれらの車両統合の特定の側面をスコープとして、6つのワーキンググループで活動している。</p> <p>現在公開されている規格は32件、開発中規格は13件である。(2024年12月時点)</p> <p>2024年7月以降新しく発行された規格は以下の通り。 ISO/SAE 12906:2024 道路車両 — 充電性能を決定するための電気自動車の試験手順 ISO 21498-2:2024 電気推進道路車両 — 電圧クラス B システムおよびコンポーネントの電気仕様とテスト パート2: コンポーネントの電気テスト</p> | <p>ISO</p> <p>https://www.iso.org/committee/5391154.html</p> |

【自動車】関連記事詳細 (2/11)

| 番号 | 地域・国 | 情報記事・タイトル | 発行日 | 要旨 | 情報源 (機関・団体名/URL) |
|-----|------|--------------------|------------|---|--|
| 1-2 | 国際 | IECにおける電気自動車関連の委員会 | 2024/12/16 | <p>IEC/TC 21(Secondary cells and batteries:二次電池とバッテリー)は、EVバッテリーの主要な性能および安全基準に関わる規格開発をしている。IEC 62660シリーズは、電気自動車推進用リチウムイオン二次電池の安全性、試験方法などに関する規格である。</p> <p>IEC/SC 23H (Plugs, Socket-outlets and Couplers for industrial and similar applications, and for Electric Vehicles:産業用および同様の用途および電気自動車用のプラグ、ソケットコンセント、およびカプラー)では、IEC 62196シリーズ が発行されており、これらは充電システム間のインターフェースとなる、プラグ、ソケットコンセント、車両コネクタ、車両インレットの要件を指定する規格である。</p> <p>IEC/TC 69(Electrical power/energy transfer systems for electrically propelled road vehicles and industrial trucks:電気推進道路車両および産業用トラック用の電力/エネルギー伝送システム)では、IEC 61851シリーズが発行されており、電気自動車の導電性充電システムに関する規格である。</p> <p>IEC/TC 105(Fuel cell technologies:燃料電池技術)では、IEC 62282シリーズが発行されており、これらは電動産業用トラック用の燃料電池電源システムの安全性、試験方法などを規定している。</p> | IEC https://www.iec.ch/homepage |

【自動車】関連記事詳細 (3/11)

| 番号 | 地域・国 | 情報記事・タイトル | 発行日 | 要旨 | 情報源 (機関・団体名/URL) |
|----|------|--|-----------|---|--|
| 2 | 国際 | TÜV SÜDとIEEEが国連サミットで「SustainMobility」イニシアチブを発表 | 2024/8/22 | <p>輸送業界は、世界全体の二酸化炭素排出量の最大20%を占めており、地球規模での気候変動対策の目標達成において重要な役割を担っている。世界中で協調した行動を先導するため、テュフズードは、米国電気電子学会（IEEE）と提携し、SustainMobilityイニシアチブを立ち上げた。このイニシアチブは、持続可能なモビリティシステムのための包括的な影響評価フレームワークの開発に重点的に取り組むもので、気候変動分野における国連の持続可能な開発目標（SDGs）の達成を支援する。このフレームワークは、モビリティ分野における体系的な変化を促進し、関連するイニシアチブに標準化と比較可能性を導入することで、計画能力を向上させることを目的としている。</p> <p>このイニシアチブにおけるTÜV SÜDとパートナーの具体的な目標には、持続可能なモビリティシステムの評価と予測を可能にするモバイルパイロットプロジェクト向けの認証試験環境の構築が含まれる。</p> | TÜV SÜD https://www.tuvsud.com/en/press-and-media/2024/august/tuev-sued-and-ieee-unveil-sustainmobility-initiative-at-un-summit |
| 3 | アメリカ | NHTSA、歩行者の保護強化に向けた新たな自動車安全基準を提案 | 2024/9/9 | <p>米国高速道路交通安全局（NHTSA）は、車両に轢かれた歩行者の死亡および重傷を減らすための新たな規則を提案し、歩行者の安全性向上に取り組んでいる。提案された規則は、子供および大人の歩行者との衝突による重傷から死亡に至るまでのリスクを低減するよう設計された新型乗用車を義務付ける新たな連邦自動車安全基準を確立するものである。</p> <p>提案された基準は、ボンネットへの頭部衝突をシミュレートする試験手順と、頭部の負傷リスクを最小限に抑えるための性能要件を定めることになる。NHTSAは、この新しい基準により年間67人の命が救われると推定している。</p> <p>この試験手順には、ボンネットへの頭部衝突を測定するための人間に近い頭部模型の使用も含まれる。NHTSAが新しい基準の試験に使用することを提案している頭部模型は、小さな子供から大人まで、さまざまな歩行者を代表するものである。</p> <p>この提案された規則は、米国の車両規制を世界的に調和させ、車両の安全性を促進するというインフラ整備法の指令を満たすものである。この基準が最終的に確定すれば、ピックアップトラックや大型SUVなど、米国独自のプラットフォームが提案された歩行者頭部保護レベルを確実に提供できるよう、重点的に強化されたグローバル技術規則第9号に準拠することになる。2020年には、これら2つのプラットフォームは米国の乗用車販売のほぼ4分の1を占めていた。この措置は、安全システム・アプローチに沿ったより安全な車両の開発を推進する運輸省の取り組みを支援するものである。</p> | NHTSA https://www.nhtsa.gov/press-releases/nhtsa-proposes-new-vehicle-safety-standard-protect-pedestrians |

【自動車】関連記事詳細（4/11）

| 番号 | 地域・国 | 情報記事・タイトル | 発行日 | 要旨 | 情報源 (機関・団体名/URL) |
|----|------|---------------------------|-----------|--|---|
| 4 | アメリカ | 懸念国からのコネクテッドカー技術からアメリカを守る | 2024/9/23 | <p>バイデン大統領は、懸念国からのコネクテッドカー技術に関連する国家安全保障上のリスクから米国を守るための強力な措置を発表する。商務省は、提案通りに最終決定されれば、懸念国、具体的には中華人民共和国（PRC）およびロシアからの特定の技術を組み込んだコネクテッドカーの販売または輸入、および特定の部品自体の輸入を禁止する規則制定案（NPRM）を公表する。</p> <p>この発表は、2024年2月にバイデン大統領が発表したプロセスの次のステップである。このNPRMは、コネクテッドカーで使用される特定のテクノロジーに関連する国家安全保障リスクについて、2024年3月1日に運輸省が発表した規則制定の事前通知（ANPRM）に対する一般からのフィードバックを組み込んでいる。コネクテッドカーは、車両の安全性の向上からドライバーのナビゲーション支援まで、多くの利点をもたらすが、同時に新たな脅威も生み出している。こうした技術には、車両の移動を制御し、ドライバーや同乗者の機密データを収集する。</p> <p>商務省が提案する規則案では、中国またはロシアと十分なつながりを持つ企業が設計、開発、製造、または供給する特定の接続車両システムの輸入または販売を禁止するとしている。</p> <p>商務省はまた、業界に予期せぬ不必要な混乱が生じるのを最小限に抑えるため、例外的に、車両の小規模生産者など特定の関係者が禁止規定の適用除外を受けられる手続きを提案している。</p> <p>ソフトウェアに関する禁止規定は2027年モデルイヤーから、ハードウェアに関する禁止規定は2030年モデルイヤーから、またはモデルイヤーのないユニットについては2029年1月1日から発効する。これらの規制は、懸念国によるコネクテッドビークル技術がもたらす国家安全保障上のリスクへの対処に役立つ。</p> | アメリカ政府 https://www.whitehouse.gov/briefing-room/statements-releases/2024/09/23/fact-sheet-protecting-america-from-connected-vehicle-technology-from-countries-of-concern/ |

【自動車】関連記事詳細 (5/11)

| 番号 | 地域・国 | 情報記事・タイトル | 発行日 | 要旨 | 情報源 (機関・団体名/URL) |
|----|------|----------------------------------|-----------|--|--|
| 5 | 中国 | 「大型設備の更新と消費財の下取り支援強化に関する各種措置」が発布 | 2024/9/27 | <p>「大型設備の更新と消費財の下取り支援強化に関する各種措置」が発布された後、設備更新プロジェクトの申請に関する通知、および産業設備、エネルギー利用設備、環境インフラ、船舶の運航、トラックの運航、新エネルギーバス、農業機械、老朽エレベーターの8分野における設備更新の実施規則、自動車、家電、電動自転車、家庭用キッチン・バスルームの4分野における消費財の下取りの実施規則がすべて発布され、実施されている。</p> <p>ガソリン車においては、2024年4月24日（同日を含む）から2024年12月31日までの間に、排出基準が国III以下である燃料自動車乗用車、または2018年4月30日以前に登録された新エネルギー乗用車を廃車にし、工業情報化部の「自動車購置税減免新エネルギー車目録」に含まれる新エネルギー乗用車、または排気量が2.0リットル以下の燃料自動車乗用車を購入する個人消費者は、補助金基準が以下のように調整される。上記の2種類の旧型車を廃車し、新エネルギー乗用車を購入した場合は2万元の補助金が支給され、排出基準が国III以下の燃料動力乗用車を廃車し、排気量が2.0リットル以下の燃料動力乗用車を購入した場合は1.5万元の補助金が支給される。</p> <p>また、交換用パワーバッテリーの性能は、強制国家規格「電気自動車用パワーバッテリーの安全要求事項」（GB 38031）の要求事項を満たさなければならない。また、推奨国家規格「電気自動車用パワーバッテリーのサイクル寿命要求事項および試験方法」（GB/T 31484）および「電気自動車用パワーバッテリーの電気性能要求事項および試験方法」（GB/T 31486）の要求事項を満たすことが推奨される。交換により発生した使用済みパワーバッテリーは、リサイクルサービス窓口やその他のルートに引き渡され、関連機関は関連規定に従って追跡可能性情報をアップロードしなければならない。</p> | 上海市人民政府 https://www.shanghai.gov.cn/nw4411/20240927/16d9a4936a464ff1b4aa65a1b9459484.html |

【自動車】関連記事詳細 (6/11)

| 番号 | 地域・国 | 情報記事・タイトル | 発行日 | 要旨 | 情報源 (機関・団体名/URL) | |
|----|------|---|-----------|---|---------------------|---|
| 6 | 国際 | TÜVイタリアがEUROTESTを買収し、北東イタリアにおける試験サービスの範囲を拡大 | 2024/10/2 | <p>TÜV SÜDグループのイタリア法人であるTÜVイタリアは、10月1日付でEUROTEST Laboratori Srlを買収した。北東イタリアのパドヴァ近郊ブルジーネに拠点を置く著名な試験所は、安全およびコンプライアンス試験を専門としている。</p> <p>EUROTESTは、パドヴァ県ブルジーネに拠点を置く試験・認証ラボであり、幅広い産業分野の製品の適合性および安全性評価を専門としている。20年以上前に設立されて以来、同社は高度な技術サービスの提供において確かな実績を積み重ね、イタリアおよび欧州の企業にとっての基準となる存在となっている。EUROTESTは、以下を含むさまざまな分野で活動している。</p> <p>電気機械産業：電気機械部品およびシステムの安全性と適合性を確保するための試験および認証。 自動車産業：自動車に使用される電子部品およびシステムの試験を行い、自動車産業の安全性と効率性の向上に貢献。 エネルギー：電気およびエネルギー機器メーカーと協力し、その製品が安全で国際規格に準拠していることを保証する。 医療分野：医療機器の安全性と信頼性にとって不可欠な電気医療機器の特定試験。</p> <p>テュフ・イタリアは、サービス範囲の改善と拡大に引き続き取り組んでいる。パドヴァの有名なユーロテスト研究所を買収することで、イタリアでの存在感を強化し、よりきめ細やかな顧客対応を確保している。2020年以降、テュフ・イタリアは、研究所および既存の拠点の拡張と近代化に投資を続けている。ユーロテストの買収とパドヴァに新設された関連施設は、イタリア全土で試験能力を拡大し、テュフズードのサービスをより利用しやすく競争力のあるものにするを目的とした包括的な戦略のひとつである。</p> | TÜV SÜD | https://www.tuvsud.com/en/press-and-media/2024/october/tuev-italia-acquires-eurotest-and-expands-range-of-testing-services-in-northeastern-italy |

【自動車】関連記事詳細（7/11）

| 番号 | 地域・国 | 情報記事・タイトル | 発行日 | 要旨 | 情報源 (機関・団体名/URL) |
|----|------|--------------------------|------------|---|---|
| 7 | イギリス | IPOキャンペーン、偽造自動車部品の危険性を強調 | 2024/10/21 | <p>知的財産庁（IPO）は、自動車部品の偽造品を購入することの危険性を消費者に警告する最新の全国的な啓発キャンペーンを開始した。</p> <p>経済協力開発機構（OECD）の調査によると、2016年に英国に輸入された偽造自動車部品の価値は、ほぼ10億ポンドに上ると推定されている。</p> <p>「偽物は必ず壊れる」という明確なメッセージを伝えるIPOの新しいキャンペーンでは、ドライバーに偽造品が生命を脅かす危険性があることを警告している。これには、ブレーキ、ヘッドライト、エアバッグなどの部品が含まれる。</p> <p>IPOが実施した調査では、回答したドライバーの6人に1人が、過去12か月間だけでも偽造部品を購入したことがあると答えたことが明らかになっている。</p> <p>このキャンペーンでは、偽造自動車部品は正規品と同じ厳格なテストを受けていないことを強調している。また、自動車業界と共同で開発した偽造品の識別と報告方法に関する新たな指針を、消費者と自動車業界向けにIPOが発表したことも紹介している。</p> <p>このキャンペーンは、自動車業界や車両修理・整備部門のさまざまな組織によって支援されている。これには独立自動車アフターマーケット連盟や独立ガレージ協会などが含まれる。</p> <p>メルセデス・ベンツなどの自動車メーカーや、ロンドン市警の知的財産犯罪ユニット（PIPCU）などの法執行機関もこのキャンペーンに参加している。このキャンペーンでは、ソーシャルメディアや業界の声を結集し、消費者が十分な情報を得た上で選択できるよう、共感を呼ぶ啓発メッセージを配信している。</p> | イギリス政府 https://www.gov.uk/government/news/ipo-campaign-highlights-dangers-of-counterfeit-vehicle-parts |

【自動車】関連記事詳細 (8/11)

| 番号 | 地域・国 | 情報記事・タイトル | 発行日 | 要旨 | 情報源 (機関・団体名/URL) |
|----|------|---|-----------|---|---|
| 8 | イギリス | 欧州連合および国連欧州経済委員会 (UNECE) を通じた国際的な車両安全規制の進展を反映させるための英国型式認証制度更新に関する協議 | 2024/11/4 | <p>イギリスが欧州連合 (EU) に加盟していた間、ほとんどの路上走行車両とそのパーツが販売または登録される前に承認を得るための手続きは、型式認証枠組みとして知られるEUの規制枠組みの数々で定められていた。</p> <p>イギリスがEUを離脱した今、イギリスの製造業者や消費者のニーズを満たす制度を自由に構築できるようになった。</p> <p>すでに前進は果たしており、車両規制に対するアプローチを開発するための基盤を確立している。英国型式認証スキームは、グレートブリテンにおける道路車両のための新しい自動車規制スキームである。</p> <p>欧州連合および国連欧州経済委員会 (UNECE) を通じた国際的な車両安全規制の進展を反映させるために、英国型式認証制度を更新することに関する協議。</p> <p>本協議では、EUおよび国際的な車両規制の進展をいくつか検討し、それらを英国制度に組み込むための我々の意図するアプローチに対する意見を求めている。</p> <p>これらの更新は、整合規則を改正する法定規則を通じて導入される。本書において、「整合規則」とは、ブレグジット後も国内法に維持され、その後改正されて英国型式認証スキームが確立されたEU規則の英国版を指す。</p> <p>本協議では、2つの提案が対象となる。</p> <p>優先提案のグループ。協議後、できるだけ早く法定規則を通じて規則を制定する予定である。</p> <p>また、今後の法定規則の中で、より緩やかなスケジュールを進めることを視野に入れ、現時点で意見を収集したいと考えている分野もいくつかある。</p> <p>これにより、車両認証プロセスが合理化され、英国とEUの両方に販売する車両について、GB独自の設計や重複した試験を行う必要がなくなるため、自動車業界が支援されることになる。</p> | イギリス政府 https://www.gov.uk/government/consultations/incorporating-international-rules-into-gb-type-approval-for-road-vehicles/incorporating-international-rules-into-gb-type-approval-for-road-vehicles |
| 9 | アメリカ | ULソリューションズ、オミウム社による産業用水素発生装置の初の認証取得でエネルギー転換の安全性を推進 | 2024/11/7 | <p>応用安全科学の世界的リーダーであるULソリューションズ (NYSE: ULS) は、水素発生用の固体高分子形電解槽を専門とする企業であるオミウム・インターナショナル社に、産業用水素発生装置の初の認証を発行したことを発表した。これにより、エネルギー転換の安全性がサポートされる。</p> <p>ULソリューションズは、Ohmiumのプロトン交換膜電解モジュールおよびシステム (LCC、LWC、LHC、LPC、LTC、UIBの各モデル) を、水電解型水素発生器の調査概要であるUL 2264Aに則って評価した。ULの調査概要 (OOI) とは、製品やシステムの安全性評価および認証に必要な要件を定めたULソリューションズの文書である。水電解式水素発生器を対象とするUL 2264Aは、リスク管理に関連する規格や基準を特定し、電気、圧力、漏れ、作業員の保護などの要因に関連する構造や性能試験の要件を定義している。</p> | ULソリューションズ https://www.ul.com/news/ul-solutions-advances-energy-transition-safety-first-industrial-hydrogen-generator |

【自動車】関連記事詳細 (9/11)

| 番号 | 地域・国 | 情報記事・タイトル | 発行日 | 要旨 | 情報源 (機関・団体名/URL) |
|----|------|---|------------|---|---|
| 10 | アメリカ | TOP TIER(TM) 認定燃料が、車両の清潔さと最適な性能を保証するための新しいガソリンおよびディーゼル性能基準を発表 | 2024/11/7 | <p>TOP TIER™認定燃料プログラムは、消費者の車両エンジンと排気システムがクリーンかつ最適に動作するよう設計された、新しいガソリンおよびディーゼル燃料の性能基準の開発を発表した。ゼネラルモーターズ、BMW、トヨタ、ホンダ、アウディ、ダイムラートラック、フォード、メルセデス・ベンツ、ナビスター、ステランティス、スバル・オブ・アメリカ、フォルクスワーゲンがスポンサーを務めるTOP TIER™認定ガソリンおよびディーゼル燃料は、優れた燃料清浄性とエンジンケアの代名詞となっている。</p> <p>燃料販売業者は、1月初旬までにtoptiergas.comでこれらの新しい基準にアクセスできるようになることが予想され、一般消費者は2025年後半にTOP TIER+認定燃料を利用できるようになる。</p> <p>TOP TIER+™認定ガソリン性能規格の導入により、これらの利点はより新しく、より効率の高いガソリン直噴（GDI）エンジンにも拡大される。新しいガソリン規格には、最適な排出ガスと燃焼挙動をモニタリングしながらのGDI燃料インジェクター清浄度エンジンダイナモメーター試験が含まれる。</p> <p>更新されたディーゼル性能規格</p> <p>最新のTOP TIER™ディーゼル燃料性能規格は、市場の柔軟性を高めるために、2段階の性能要件に簡素化された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・TOP TIER™認定ディーゼル燃料性能規格は、清浄性と汚染の清浄性に関する要件に焦点を絞るよう改定された。 ・TOP TIER+™認定ディーゼル燃料性能規格は、基本レベルの機能に、強化された燃料噴射ハードウェアの摩耗保護と、より優れた燃料貯蔵安定性を追加した。 | <p>TOP TIER+™ Approved Fuels</p> <p>https://www.toptiergas.com/2024/11/06/top-tier-approved-fuels-announce-s-new-gasoline-and-diesel-performance-standards/</p> |
| 11 | 国際 | TÜV SÜD、TÜV SÜD Battery Testing GmbHの全株式を取得 | 2024/11/11 | <p>LION E-Mobility AGの子会社であるLION Smart GmbHが保有していたTÜV SÜD Battery Testing GmbHの30%の株式は、TÜV SÜDが全額取得し、同社が唯一の株主となった。TÜV SÜDは、TÜV SÜD Battery Testing GmbHの残りの全株式を取得することで、バッテリー技術業界におけるグローバルな地位を強化する。この買収により、さらなる成長とイノベーションのリーダーシップに向けた同社の方向性が推進される。</p> <p>完全買収の決定は、TÜV SÜD Battery Testing GmbHがこれまでに達成した成功に対するTÜV SÜDの自信を裏付けるものである。TÜV SÜD Battery Testingは、設備の拡張と革新的な試験オプションの提供に加え、特に安全性試験への新たな投資を計画している。この分野では、急速に進化する業界のニーズに応えるため、最先端の技術と試験方法を開発する計画がある。TÜV SÜDの買収は、将来に向けた力強いシグナルを発信し、持続可能なエネルギーソリューションへの移行を支援し、最高水準の安全性を保証する信頼のおけるパートナーとなるという長期的なビジョンを前面に押し出している。</p> | <p>TÜV SÜD</p> <p>https://www.tuvsud.com/en/press-and-media/2024/november/tuev-sued-acquires-all-remaining-shares-in-tuev-sued-battery-testing-gmbh</p> |

【自動車】関連記事詳細（10/11）

| 番号 | 地域・国 | 情報記事・タイトル | 発行日 | 要旨 | 情報源 (機関・団体名/URL) |
|----|------|---|------------|--|---|
| 12 | アメリカ | ULソリューションズ、メキシコの試験所の能力を拡大し、ラテンアメリカにおける製品試験の需要増に対応 | 2024/11/12 | <p>ULソリューションズ（NYSE: ULS）は、中南米の製造業者からの製品安全および性能試験に対する需要の高まりに応えるため、メキシコの試験所の能力と機能を拡充した。メキシコのULソリューションズの試験所の拡張により、消費者向けテクノロジー、自動車、ワイヤーおよびケーブル製品向けの試験能力が追加され、米国、カナダ、中南米全体への輸出品に対する試験サービスが拡大し、同時に現地市場のニーズにも対応できるようになった。これにより、フォルクスワーゲン・デ・メキシコのパートナー試験所にもなった。</p> <p>この拡大の結果、ケタロの施設はフォルクスワーゲン・デ・メキシコの外部研究所パートナーとして認定され、同社のサプライヤーから納入される自動車部品や機能材料を、同社の基準に従って試験することとなった。メキシコは世界第7位の乗用車メーカーであり、年間350万台の自動車を生産している。メキシコで生産された自動車の88%は輸出されており、そのうち76%は米国向けである。また、メキシコは世界第5位の貨物用大型車両メーカーでもあり、バス、トラック、トラクター、エンジンの製造・組立メーカーが存在する。</p> | ULソリューションズ https://www.ul.com/news/ul-solutions-expands-mexico-laboratory-capacity-meet-growing-product-testing-demand-latin |
| 13 | 欧州 | ユーロNCAPが新しい大型トラック評価プログラム「TRUCK SAFE」を開始 | 2024/11/20 | <p>欧州の道路を走るトラックの安全性が注目されているが、ユーロNCAPが本日、新たなトラック安全評価プログラム「トラック・セーフ」の最初の結果を発表した。大型トラックの安全性がテストされるのは今回が初めてである。評価対象となった9台のトラックのうち、ボルボのFH AeroとFMモデルはともに最高評価の5つ星を獲得したが、一方、現行のIVECO S-WAYモデルは1つ星と、最も低い評価となった。</p> <p>ビジョンゼロ（交通死亡事故および重傷事故の根絶）の達成という使命の一環として、ユーロNCAPは今回初めて、大型貨物車のカテゴリーを対象に試験と安全性能評価を実施した。同機関は、乗用車のアクティブおよびパッシブセーフティ性能の評価と格付けを30年近くにわたって実施し、安全基準の向上を推進してきた。また、2020年には小型商用車向けの同様の格付けスキームを開始している。</p> | https://www.euroncap.com/en/press-media/press-releases/heavy-goods-vehicle-safety-in-the-spotlight-as-euroncap-launches-brand-new-truck-safe-assessment-program/ |

【自動車】関連記事詳細 (11/11)

| 番号 | 地域・国 | 情報記事・タイトル | 発行日 | 要旨 | 情報源 (機関・団体名/URL) | |
|----|------|---|------------|---|---------------------|---|
| 14 | 中国 | 自動車産業向けの3つの強制国家規格が2026年元旦に実施される | 2024/12/10 | <p>最近、中国国家市場監督管理総局と中国国家標準化管理委員会は共同で、自動車業界向けの3つの強制国家規格を承認し、発表した。</p> <p>それらは、 GB 44495-2024「完成車の情報セキュリティ技術要求事項」、 GB 44496-2024「自動車ソフトウェア更新の一般技術要求事項」、 GB 44497-2024「インテリジェントコネクテッドカー - 自動運転データ記録システム」 である。</p> <p>この3つの基準は2026年1月1日に正式に施行され、情報セキュリティ、ソフトウェアのアップグレード、自動運転データの記録という観点で、中国の自動車産業にとって重要な一歩となる。</p> | 中国政府 | https://www.gov.cn/lianbo/bumen/202409/content_6972669.htm |
| 15 | 国際 | BSIは、自動車サプライチェーンのサイバーセキュリティを保護するENX VCS 監査プロバイダーの資格を正式に取得 | 2024/12/10 | <p>BSIはVCS内部統制組織であるENX協会から正式に認定され、中国市場向けにVCS評価サービスを提供できるようになった。VCSラベルは、海外市場、特に欧州市場への進出を望む中国企業に力を与える。この重要なマイルストーンは、自動車産業がデジタルトラストを達成するのを支援するというBSIのグローバルな目標に沿うものである。</p> <p>ENX VCSは、ENX協会が自動車業界向けに策定した路上走行車両のサイバーセキュリティ監査基準である「車両サイバーセキュリティ」である。このスキームは、ENX作業部会の自動車業界の専門家（OEM、サプライヤー、サービスプロバイダー）によって開発され、継続的に進化している。これにより、自動車サプライヤーは、ISO/PAS 5112ガイドラインに準拠したサイバーセキュリティ管理システム（CSMS）の導入を標準化された方法で証明することができる。これは、国際規格ISO/SAE 21434に準拠したサプライチェーンにおけるCSMS導入の技術的要件を企業が満たしていることを証明するために利用できる。VCSの評価を確立し、合格することは、国連が発行したUN Regulation R155の要件を満たすため、組織の道路車両のサイバーセキュリティをより効果的に推進することにつながる。</p> | BSI | https://www.bsigroup.com/zh-CN/about-bsi/media-centre/press-releases/2024/december/12--bsienx-vcs/ |